

JCM設備補助事業シンポジウム2020  
～コロナ禍におけるJCM設備補助事業の活用～  
2020年12月7日

## Covid-19からの経済回復と長期課題の解決 ～ Green RecoveryをJCMで支援 ～

三井物産戦略研究所  
本郷 尚



## 主要国のCOVID-19経済対策とGreen Stimulus

国	経済対策 (\$ billion)	主なGreenな対策	総合した環境 貢献 (注)
米国(トランプ政権)	2,980	Bio燃料生産 (\$100百万)、Great American Outdoors Act (山火事対策など、\$1.9billion)	X X
日本	2,170	補正予算：PV関連 (\$46百万)、総理演説 (12/4)：水素利用/サプライチェーン、EV、プラスチック/カーボンリサイクル、2兆円基金	X
ドイツ	1,380	Package for Future (\$45billion)；green農業、RE発電、水素、鉄道近代化	○
英国	638	住宅 (Green Homes)、ビル省エネ、風力、CCS (Direct Air Capture)	○
中国	592	EV支援 (販売、充電設備)、Green Development Fund (\$4Billion)	X X
フランス	469	環境条項付フランス航空支援 (2030年排出半減、バイオ燃料2%混入、短距離路線廃止)、EV支援 (販売、充電設備)、屋上PV	○
韓国	337	Korean New Deal (\$137billion) の一部。EV支援。	X
カナダ	284	環境条項付緊急支援 (TCFDガイドラインに従った情報開示、カナダの削減目標との整合性)、メタン回収	X

(注) Vivid Economics資料から。環境貢献は独自指標で負の貢献が50%以上は"XX"として示した。環境規制緩和、化石燃料開発、環境条件なしの救済資金などが負の影響と分類されている。XXはインドネシア、ロシア、インド、メキシコなど。なお、12月4日の菅総理演説の評価は含まれていない。

## グリーンな経済復興の3つのフェーズ (Phased Approach)

- 経済回復には即効性と雇用創出効果が重視される
- 当面は感染状況を見ながらの“Stop & Go”
- 長期課題解決への取り組みも並行して/構造改革の遅れの懸念 — Green Recovery
- ⇒ 補正予算は緊急支援中心、総理演説は成長戦略重視

### 3つのフェーズと期待される分野

	緊急支援 (コロナ対策優先)	経済復興 (バランス重視)	成長戦略 (長期課題対応)
電力・エネルギー供給	(安定供給支援)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エネルギー開発資金確保</li> <li>・ 供給網のレジリエンス強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低炭素燃料開発と供給網</li> <li>・ 送配電インフラ整備</li> <li>・ 電力市場改革</li> </ul>
産業、ビル、家庭、交通など	(事業継続支援)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存の設備・建物の省エネ</li> <li>・ EVや低燃費車の販売、充電設備などインフラ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 規制や基準の整備と強化</li> <li>・ 産業構造転換支援</li> </ul>
イノベーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学技術予算確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタルインフラ整備</li> <li>・ 実証事業支援 (水素やCCS)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エネルギー貯蔵技術開発</li> <li>・ CCS/CCUS技術開発</li> <li>・ デジタルリテラシー教育</li> </ul>
資金支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境条項付金融支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CO2削減報酬型補助金</li> <li>・ 省エネ補助事業に地銀活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成功報酬型とセーフティネットのバランス</li> <li>・ 排出量取引活用</li> <li>・ アジアの低炭素化支援</li> </ul>

(出所) 日経産業新聞 Earth新潮流 (2020年9月29日)

日経電子版 <https://www.nikkei.com/article/DGXKZO64342060Y0A920C2X12000>

## 主要ASEAN国の政策とPhased Approach

	感染症の現状と経済影響	緊急支援 (コロナ対策優先)	経済復興 (バランス重視)	成長戦略 (長期課題対応)
インドネシア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染者増加は4月以降。10月が第一波のピークか。</li> <li>・GDP; -1.0%(2020)、5.3%(2021)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次対策(2月); 食料支援など現金給付。</li> <li>・3つの柱; 健康・生命、消費需要、倒産(中小企業中心)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次対策(3月); 輸出入支援、金融部門支援(金融対策と経済開発のバランス)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次対策(3月)の中に<b>マイクログリッド強化</b></li> <li>・緊急対策が中心で本格的なGreen Recovery未済(期待) Green SUKUKとの連携</li> <li>・中小企業支援など経済対策も行われるも本格的なGreen Recovery未済</li> <li>・(期待) Green Technology Master Plan、National Renewable Energy Policy、Shared Prosperity Vision 2030との連携</li> </ul>
マレーシア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一波のピークは4月初、9月から第二波。</li> <li>・GDP; -5.0%(2020)、6.5%(2021)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次対策(2月); 納税猶予、借入返済猶予など。成長、投資支援なども。</li> <li>・第2次対策(3月); 生活支援、中小企業支援。</li> <li>・中小企業支援プログラム(4月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>6 Rs; resolve, resilience, restart, recover, revitalize and reform</b></li> <li>・ 短期経済復興プログラム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急対策が中心で本格的なGreen Recovery未済</li> <li>・ (期待) Green Technology Master Plan、National Renewable Energy Policy、Shared Prosperity Vision 2030との連携</li> </ul>
タイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3月がピークで第二波は現状なし</li> <li>・ GDP; -8.10%(2020)、4.5%(2021)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第一次対策(3月); 納税猶予、現金支給、中小企業支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2次対策(3月); 納税申告の猶予などを追加</li> <li>・ 第3次対策(4月); 中小企業支援(銀行融資)、家計支援、金融市場へ流動性供給</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急対策が中心で本格的なGreen Recovery未済</li> <li>・ (期待) 農業(循環経済)、EV化、green tourism, digital transformation.</li> </ul>
ベトナム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第一波は4月、第二波は8月。ただし感染者は少ない。</li> <li>・ GDP; 1.8%(2020)、6.3%(2021)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雇用者支援のための現金給付</li> <li>・ 事業継続のための銀行融資、納税猶予、借入返済猶予</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別な緊急支援パッケージはないが(感染者が少ない)、金融へのアクセス改善対策や流動性供給が行われている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Green Recovery未済</li> <li>・ (期待) National Energy Development Strategyとの連携。</li> </ul>

(注) GDPはアジア開発銀行 Economic Outlook資料(2020年9月見通し)

# JCMでGreen Recovery — 提案

## ◆ Phased Approach

- ✓ まずは経済回復、そして長期課題への取り組みへ。構造調整遅延リスク回避。
- ✓ 政策のStop & Goは不可避

## ◆ 省エネに注力を

- ✓ 即効性、雇用創出効果
- ✓ エネルギー需要抑制でゼロエミ比率上昇効果を期待
- ✓ 地場金融の貸し渋り対策支援
- ✓ 注力すべき分野
  - a. 既存設備（産業、ビル、家庭など）の省エネ
  - b. デジタル化 – 将来への布石

## ◆ 政策対話

- ✓ 「補助金の切れ目が縁の切れ目」を避けるために投資環境整備
- ✓ 長期的なエネルギーシフト誘導と構造調整支援をセットで
- ✓ 各国毎に異なる感染状況とエネルギー・産業構造
  - a. “no one size fits all”
  - b. 地域でみた政策調和